

## 草の根技術協力（地域活性型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	マレーシア国
2. 案件名	ボルネオゾウなどの野生動物の生息域外保全を通じたサバ州生物多様性保全プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	マレーシアは、世界のなかでも特に生物多様性の高いメガバイオダイバーシティの国であり、特にサバ州の位置するボルネオ島は生物多様性が非常に高い場所である。しかし、伐採やアブラヤシのプランテーション開発、産業植林などによりボルネオの熱帯雨林は急速に減少し、希少な野生動物が絶滅の危機に瀕している。一方で、農業被害や人的被害など、野生動物と人との間で軋轢が起り、サバ州では人間とゾウの衝突が最も多い問題となっている。この課題に対し、旭山動物園はボルネオゾウの生息域外保全施設であるボルネオゾウサンクチュアリー（BES）をサバ州野生動物局（SWD）と協働で建設した。SWDは、BESやロッカウィワイルドライフパークのそれぞれの分野で知識や技術を有し一定の成果を上げているものの、効果的な生息域外保全の取り組みは依然として不十分である。今後、救護される野生動物の数は増加することが予想されるが、どの保護動物飼育施設も現在は収容限界に達している。また、ロッカウィワイルドライフパークがマレーシア動物園協会へ加盟したことにより、動物福祉のための動物飼育管理の改善が必要となっている。このように、高度化する要求やニーズに応えるためには、より熟練したスタッフが必要であり、飼育管理や施設管理のスキル向上が課題である。本プロジェクトでは、飼育管理や獣医学技術、施設管理など技術協力により、生息域外保全の強化を目指すと同時に、環境教育の推進で野生動物と人の軋轢を緩和し、生物多様性保全と住民の安全、生活の向上の両立を目指すものである。
4. プロジェクト目標	ボルネオゾウなどの野生動物の域外保全に関する能力向上及び生息域内保全に係る住民の意識向上に基づくサバ州生物多様性保全のための同州野生動物局の体制が強化される
5. 対象地域	サバ州
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	<p>直接受益者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サバ州野生動物局（SWD）職員、州政府関係機関職員</li> <li>・ロッカウィワイルドライフパーク、ボルネオゾウサンクチュアリー等野生動物飼育施設職員</li> <li>・SAFODA エコフォレストパーク、KOPEL エコツアー組合</li> </ul> <p>間接受益者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民、小中高校生、大学生等</li> </ul>

7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <p>1. サバ州野生生物局職員の生息域外保全能力が向上する</p> <p>2. 野生生物との共生に係る生息域内保全に対する地域住民の意識向上が促進される</p> <p>&lt;活動&gt;</p> <p>1-1. 獣医学知識・技術向上のための研修の実施</p> <p>1-2. ボルネオゾウを中心とした飼育動物に関する飼育管理、繁殖管理の技術指導の実施</p> <p>1-3. ボルネオゾウサンクチュアリーを始めとする、サバ州野生動物局の直轄野生動物飼育施設の運営管理に関する協議会の実施</p> <p>1-4. 公益社団法人日本動物園水族館協会・サバ州生物多様性保全推進プロジェクトチームを始め、日本国内の動物園とサバ州野生動物局直轄野生動物飼育施設の技術協カネットワークモデルの構築</p> <p>2-1. 地域住民の生息域内保全の意識向上のための教育プログラムの教材開発ファシリテーターの育成</p> <p>2-2. 野生動物との衝突に対する適応策や緩和策の生活安全講習会の実施</p> <p>2-3. 環境や社会に配慮した持続的なアブラヤシプランテーション管理に向けた野生動物保全・共生／生息地（森林）管理／土地利用等の環境教育プログラムの実施</p> <p>2-4. 自然資源利用によるエコツアーを通じた、住民の持続可能な生計活動のための生息域内保全セミナーの実施</p> <p>2-5. サバ州野生動物局職員へ野生動物や生息地環境の情報収集法と解析に関する技術指導</p> <p>2-6. 日本とサバ州の子供たち同士が、野生動物保全に向けて考えるオンライン学習プログラムの実施</p>
8. 実施期間	(西暦) 2025年6月～2028年2月 ( 2年 9ヵ月)
9. 事業費概算額	45,803千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	<p>・サバ州野生動物局</p> <p>関連施設：ロッカウィワイルドライフパーク、ボルネオゾウサクチュアリー等</p> <p>協力団体：SAFODA エコフォレストパーク、KOPEL エコツアー組合</p>
<b>II. 団体の概要</b>	
1. 実施団体／指定団体	旭川市（旭山動物園）
2. 主な活動内容	<p>旭山動物園は 2009 年に「ボルネオへの恩返しプロジェクト」を立ち上げ、2010 年には SWD とボルネオ島の生物多様性保全に向けた合意書を締結。</p> <p>旭山動物園が主体となり、ゾウやオランウータンなどの野生動物と人が衝突している地域において、SWD やボルネオ保全トラスト・ジャパンなどの関係機関と連携し、野生動物保護活動の向上を支援してきた。これまでの事業経験から CP である SWD と強固な関係を持ち、またサバ州における野生生物の実情に関して豊富な知見を有している。</p>